

投与プロトコール 1コース:21日間 6回 (S-1:術後1年まで継続) 《開始時基準 PS:0~1 年齢:20~80歳以下》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食 500mL	-	Day1	-	
プレメディ	5-HT ₃ R拮抗剤+デキサメタゾン+生食100mL		Day1	30分	
①	ドセタキセル 40mg/m ² 5%ブドウ糖 250mL	mg	Day1	1時間	
内服	*S-1:80, 100, 120mg/day BSA 1.25m ² 未満: 80mg/day 1.25m ² 以上1.50m ² 未満: 100mg/day 1.50m ² 以上: 120mg/day	mg/日	Day1夕~ Day15朝	分2 朝夕	※1コース目のS-1 投与量を確認すること。 2ページ目「S-1投与量表」 も併せて確認すること。
<p>◆ドセタキセルによる浮腫の予防のため、デキサメタゾン(1回4mg 1日2回経口投与)を予防投与してもよい。 投与例: 投与前日(8mg/日 経口)、投与当日(前投薬:デカドロン注6.6mg)、投与翌日(8mg/日 経口) <術後補助療法(JACCRO GC-07試験)での注意点> TS-1適正使用情報(TS-1+ドセタキセル療法投与スケジュール)より引用 ◆ドセタキセルは2コース目より投与を開始し、併用療法として、本プロトコールを計6回(2-7コース目)適応する ◆S-1は1-7コースまでは14日間連続投与7日間休薬、8コース以降は原則、28日間連続投与14日間休薬とする。 ◆治療は、手術後6週以内(手術日を0日として、手術後42日以内)に開始し 手術1年後まで繰り返す(手術後1年間経過した後は新たなコースに入らない)</p>					

◆S-1投与量表

80>Ccr≥60	初回基準量(必要に応じて1段階減量)
60>Ccr≥30	※原則として1段階以上の減量 (30~40mL/minは2段階減量が望ましい)
30>Ccr	投与不可

※臨床試験では、60>Ccr≥50の場合は、1段階減量して投与開始が推奨されていた。

佐賀大学医学部附属病院